

科目ナンバリング		U-LAS02 10007 LJ36							
授業科目名 <英訳>		国語国文学Ⅰ Japanese Philology and Literature I				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 佐野 宏	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		芸術・文学・言語(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
日本文学における代表的な古典から、とくに萬葉集を講読する。萬葉集全二十巻を巻毎に取り上げつつ、和歌を抄出して講読している。各巻の概要や部立てのあり方、歌学における萬葉歌の享受史に触れながら、日本古典研究の基礎的な知識の習得を目的とする。ゆったりと萬葉歌の鑑賞を行う予定である。今期は巻15から16の作品を取り上げる。									
【到達目標】									
萬葉集についての基礎的な知識を習得し、和歌史研究のオーソドクスな観点と方法について説明できること。									
【授業計画と内容】									
1 萬葉集について 2 萬葉集の注釈書類概説 3 巻15・3723～中臣宅守の流刑の原因 4 巻15・3723～中臣宅守の流刑の原因 5 生別と死別の境界 ――死ぬことと逢えぬこと 6 生別と死別の境界 ――知らされぬ死 7 「挽歌」の変容と文芸意識 8 「挽歌」の変容と文芸意識 9 防人歌のこと――防人は還ったか 10 行路死人歌のこと 11 巻15 狭野茅上娘子の歌から始まる意味――遣新羅使人歌群との重なり 12 巻15の文芸意識 13 巻15の文芸意識 14 まとめ 15 フィードバックと補足									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
講義内容を踏まえた基礎的な事項の確認試験を行う(60%)。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度(40%)を総合的に加味して評価する。									

----- 国語国文学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓ -----

国語国文学Ⅰ(2)

[教科書]

井手至、毛利正守『新校注 萬葉集』（和泉書院）ISBN:978-4757604902

坂本信幸、毛利正守『萬葉事始』（和泉書院）ISBN:978-4-87088-728-2

受講者が上記のテキストを持参しているものとして講義を行う。

[参考書等]

（参考書）

小島憲之他『新編日本古典文学全集 萬葉集』（小学館）ISBN:978-4096580066

佐竹昭広他『新日本古典文学大系 萬葉集』（岩波書店）

[授業外学修（予習・復習）等]

プリントを配付するが具体的な語釈や文法事項については、各自で注釈書類、参考文献を一読しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

木曜日4限をオフィスアワーとする。会議等で不在の場合があるので、必ず事前に確認をすること。

[主要授業科目（学部・学科名）]